

# 委員会視察成果報告書

2023年10月16日

犬山市議会議長

議員名 沼靖子

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2023年10月3日(火)～2023年10月4日(水) (1泊2日)
(2) 視察地	① 静岡県藤崎町社会福祉協議会 ② 十和田市(現代美術館 アットワダ)
(3) 視察の種類	常任・特別委員会(民生文教委員会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	<p>① 福祉と経営の「社協である」社協というものが民間の感覚を持つ事が難しいのだということを知る。民間は資金の運用や積立という視点で経営していく。福祉業界に果たして、その思想がフィットするの？ 藤崎町はこれを「せねばならない」という方向で、運営の立て直しを行った。① 福祉へ働き手職員の熱量、マインドを育てる ② 人事考課制度の導入 ③ コンサルという視点での経営診断等。見どころに見えるが、扱は「目の前にいる人の幸せ」を考へるにはいられない。という所長の思いが、この大規模改革を成し遂げたのだらうと思う。</p> <p>② 現代美術館・アットワダと子供を繋ぐ動きについて。ステイ、インターンシップなど「トレーニング」という考へのもとで行われているプログラムについて学ぶ。子供はその時々において、受ける感覚、価値を構築おめだと思う。まぶ身近なところに現代美術があるという事から、子供たちの感性とインジグ力が自然と磨かれるのかもかもしれない。</p>
(5) 犬山市に 対する提言	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉協議会研修会の傍聴をしたが、ポイントポイントでの研修をしているように感じた。おてつが子のような連続性をもった研修にたいし、提言したい。</li> <li>・ 体験格差が言われるようになった。体験だけで終わらない。これをもっと学びを深めることが必要だと考へる。犬山には歴史がある。その歴史を、深堀りするスキルを持つ者にもおめだ。</li> </ul>

